



## 思い出 いっぱいできたかな？

学校が始まってから一週間で過ぎました。初めての8月からの再開でしたが、元気のよい声が聞かれ、夏休み中静かだった学校に、活気が戻りました。

夏休みの前に、「今年の夏休みには、『夏休みでなければできないこと』『夏休みだから思い切り取り組めること』に、ぜひチャレンジして、『自分で決めたことをやりきったと実感できる夏休み』にしてほしい」とお願いしました。夏休み明けの子供たちの様子を見ると、一人一人の大きな成長を、ご家族で見守りながら一緒に楽しんだ夏休みになっていたことがうかがえます。ご家庭でのご協力、ありがとうございました。

夏休みが明けても、暑い日が続いています。学校でも子供たちの命と健康を最優先に、十分に注意して活動を行います。ご家庭でも、早寝早起き朝ごはん等へのご協力をお願いいたします。

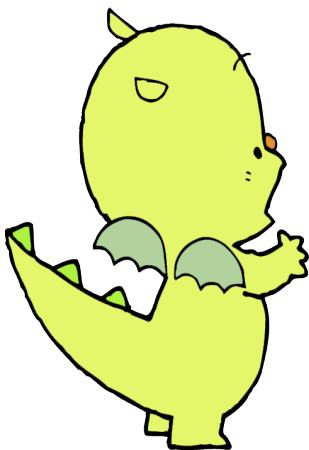
## いざという時 ために

9月1日(金)に、スクールサポーターの長井さんをお招きして、不審者対応の避難訓練を実施しました。子供たちは、オンラインでの参加でしたが真剣に取り組んでいました。

事前に、各教室でバリケードの作り方や、不審者が来たときの合言葉について学習しました。

訓練は、昇降口から不審者が侵入したという設定です。子供たちは、不審者が来たときの合言葉が放送されると、各学級でバリケードを築いたり、見えないように隠れたりして身を守っていました。

スクールサポーターの長井さんからは「いかのおすし」について、校長先生からは不審者を見分ける「はちみつじまん」について、お話をいただきました。また、教職員は、いざという時のために、スクールサポーターの長井さんから不審者への対応の仕方を教えていただきました。



しつこく **は** なしかけてくる人

**い** かない

りゆうなく **う** かついてくる人

**う** らない

あなたがくるのを **み** つめてくる人

**み** おこえをだす

どこまでも、いつまでも **つ** いてくる人

**つ** ぐにげる

あなたがくるのを **じ** っと **ま** っている人

**じ** らせる

こういう人に会ったら **ん** ? と注意



## 福田昌義さん ありがとうございます！

福田昌義さんが、スクールガードをおやめになることになりました。スクールガードとして、子供たちの登下校を見守ってくださった福田さん。子供たちが安全に登下校できるように、暑い日も寒い日も、朝は正門前の横断歩道で、帰りは調整池の交差点で立哨をしてくださっていました。いつもやわらかい笑顔で、子供たちに明るくあいさつをしてくださった福田さんに、改めてお礼を申し上げたいと思います。



## 学校保健委員会が行われました

8月31日(木)に、学校医:中澤先生、有馬先生 学校歯科医:横張先生 学校薬剤師:溝口先生をお迎えし、「人の一生と歯(歯と口の健康について知ろう)」を議題に学校保健委員会が行われました。学校保健委員会とは、学校における健康問題を協議し、家庭や地域社会と連携して健康づくりを推進する組織です。

8020 運動をご存知でしょうか。8020 運動は、1989 年(平成元年)より、厚生省(当時)と日本歯科医師会が推進している「80 歳になっても 20 本以上自分の歯を保とう」という運動です。20 本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われてます。そのため、「生涯自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」との願いを込めてこの運動が始まったそうです。自分の歯で噛むことは、生命の根源の力、生きる力に直結しています。また、咀嚼力や、誤嚥、糖尿病など全身の健康にも大きな影響があり、「歯が健康な方は長生き」ともいわれています。

今回の学校保健委員会では、80 歳で 20 本の歯を残すために、今、何ができるのか、何をするのかを考えました。歯磨きは小さいころからの習慣です。小さいころ歯を磨く習慣が身に付かないと、磨かない大人になってしまいます。一生を決めることにつながるこの習慣を、お子さんに、ぜひ身に付けさせてください。この習慣が身に付いているお子さんには、ずっと続けられるようご支援ください。

むし歯は、「歯の強さ(歯質)」、「細菌(虫歯の原因菌)」、「間食(砂糖)」、「時間」の 4 つの要因が重なるほど、なりやすくなるそうです。むし歯を予防するためには、それぞれの原因の改善に取り組み、重なる部分をできるだけ小さくしていくことが重要だそうです。

一度むし歯になると治ることはありません。むし歯にならないように、予防に心がけてください。

